

いわふね

第 236 号

令和6年12月13日 発行
ときわ会岩船村上支部
広報委員会
題字 宮川 佳代子(前神林中学校長)



課題解決に向け、出会いのすばらしさを伝えよう！

ときわ会岩船村上支部組織委員長

神納小学校長 見原 恵(62年度)

今年度の支部のスローガン「つどい つながり 共に学び合い、高め合う岩船・村上支部」と「あらゆる研修や交流、親睦の機会を通じて会員同士のつながりや絆を強め、共に学びを進める中で、一人一人の資質・能力を高めていきたい」という松田支部長の思いを受け、組織委員会としての活動を推進しています。会員の皆様には、「地区ときわ」「自立会員懇親会」「年度代表者会」そして、「リーダーシップ研修会」等にご参加いただき、共に交流を深め、つながりや絆を強めていただいていることに感謝いたします。本当にありがとうございます。

岩船・村上支部の現在の加入人数は、139人（男性112人・女性27人）です。今年度の「第1回加入促進月間」の取組で明らかになった課題は、「採用1・2校目教員の未加入率82.5%」です。コロナ禍で活動が自粛されていたことや大学時代もオンラインでのつながりが主だったことが大きな要因と考えられますが、だからこそ、令和6年度の重点「ときわ会で様々な人たちとの出会い、その人の見方・考え方や人間性に触れ、自分自身を見つめ直していくことが、教師としての資質・能力を高めることにつながる」ことを発信していかなければなりません。

私自身のことを振り返りますと、平成17年度に40代でここ岩船・村上支部で仲間入りをさせていただきました。一度は他支部でお世話になりましたが、ときわ人として、ここ岩船・村上支部で育てていただいたと言っても過言ではありません。また、年度（無二の会）においても、すばらしい仲間と出会い、様々な研修及び懇親の場でたくさんのことを学ばせていただきました。悔やまれるのは、なぜもっと早くに入会しなかったのかということです。会員の皆様には、1・2校目の教員に支部での仲間づくり、年度での仲間づくりのすばらしさを伝え、「一緒に学び合いませんか」と誘っていただけたら心強いです。また、私としては、夫婦会員の増加も期待して止みません。

子どもと教師自身のWell-Beingの実現に向け、数は力！仲間を増やしていきましょう。